

## 民生常任委員会先進地視察研修報告書

- 期 日 平成28年8月23日（火）・8月24日（水）
- 視 察 先 滋賀県 犬上郡多賀町・近江八幡市
- 参 加 者 委員8名、随員1名 合計9名
- 視察地概要

### 【彦根愛知犬上広域行政組合】

●人 口 156,365人（H28.8.1現在）

（彦根市112,734人、愛壮町21,265人、豊郷町7,412人、甲良町7,330人、多賀町7,624人）

●視察事項 『斎場「紫雲苑」について』

紫雲苑は、昭和60年4月に供用を開始、稼働後30年が経過し、長期稼働による火葬炉設備や付帯施設の老朽化に加え、ダイオキシン類等の排ガス処理対策も未整備だったため、火葬炉整備の更新が急務となっていた。そのため、彦根愛知犬上広域行政組合では、最新の火葬炉設備等を導入し、誰もが快適に利用でき、人にも環境にも優しい「人生の終焉」の場としてふさわしい火葬場の整備を既存施設と同じ場所に行った。

### 1. 施設の概要

敷地面積	10,044㎡
構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨2階建て）
延床面積	1658.70㎡（付属棟を含む）
主要施設	事務室、火葬炉室、告別室（2室）、収骨室（2室） 待合室（2室）、ロビー、駐車場

### 2. 火葬炉設備

炉数	人体火葬炉 6基 汚物炉 1基
燃焼方式	1炉1再燃焼方式
火葬燃料	灯油
除じん設備	乾式バグフィルター
火葬時間	着火から冷却完了（収骨可能）まで概ね75分

### 3. 事業経過

平成24年度	基本計画策定
平成25年度	実施設計
平成26年5月～平成27年6月	第1期工事 火葬棟建設工事

平成27年7月～平成28年2月 第2期工事 待合棟建設工事  
平成28年3月28日 竣工式

#### 4. 事業費

総事業費 11億4,765万3千円  
建築工事 6億2,510万4千円  
電気設備工事 1億2,960万円  
機械設備工事 1億3,122万円  
火葬炉設備工事 2億2,690万8千円  
設計・監理業務 3,482万1千円

#### 5. 業者選定方法

建築工事、電気設備工事、機械設備工事・・・入札  
火葬炉設備工事・・・プロポーザル方式

#### 6. 火葬件数

年度	人体火葬炉	動物火葬炉
平成25年度	1,286件	933件
平成26年度	1,256件	993件
平成27年度	1,331件	849件

#### ○所感

- ・6基の火葬炉設置は、将来の人口規模を見据えた整備であり、1日最大で12件に対応できるが、実績は10件であるとのことだった。
- ・人口が栃木市と比較し1万人多いが、これまでの火葬実績から火葬炉は6炉で運営していた。栃木市は8炉の予定だが、精査が必要だと感じた。
- ・動物炉の利用実績が非常に多く。栃木市でも精査が必要と感じた。
- ・施設装置や事業費について実際に学ぶことで、今後の施設整備について検討していくうえで参考となった。

## 【 近江八幡市 】

- 人 口 82,097人 (H28. 8. 1現在)
- 面 積 177.45平方キロメートル
- 調査事項 『少子化対策について (地域少子化対策 強化事業・重点推進事業) 』

### ○近江八幡市の人口推計 (国立社会保障・人口問題研究所)

2020年 80,700人 (うち0～14歳 10,919人)

2030年 77,417人 ( " 9,357人)

2040年 72,728人 ( " 8,556人)

→少子化問題は待ったなしの状況となり、平成26年度から国 (内閣府) の地域少子化対策強化交付金等を活用し、滋賀県とも連携して少子化対策に関する事業を実施した。

### 1. 事業概要

- ・基本理念「子どもは地域の宝、みんなで見守り育てよう！」
- ・めざすまちの姿
  - (1) 子どもの幸せを考えるまち
  - (2) 子育てを地域ぐるみで支えあうまち
  - (3) 次代の親を育成するまち

### ○平成26年度「地域少子化対策強化事業」

#### 【事業内容】

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築
  - (1) 地域の連携ネットワーク構築事業
    - ・地域の社会資源について情報収集
2. 結婚に向けた情報提供等 (滋賀県事業)
3. 妊娠・出産に関する情報提供
  - (1) 男性の育児参加普及啓発事業
    - ・育パパ手帳の作成
    - ・市民、企業向けイベントの実施 (ワークライフバランス講座)
4. 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備
  - (1) 家庭訪問型支援の仕組み構築事業
    - ・専門人材の育成

- (2) 子ども・子育て支援の普及啓発事業
- ・リーフレット作成

○平成27年度「地域少子化対策強化事業」

【事業内容】

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築
  - (1) 子育て応援シニア養成・連携事業
    - ・既存支援者との連携案内
    - ・養成講座の実施
2. 結婚に向けた情報提供等（滋賀県事業）
3. 妊娠・出産に関する情報提供
  - (1) ライフプラン意識啓発事業
    - ・アンケート実施
    - ・冊子の作成「いつかは子どもがほしいと思うあなたへ」
4. 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備
  - (1) 子育てネットワークの仕組み確立事業
    - ・フェイスブックによる情報発信
    - ・子育て応援イベント実施「おいでフェスタ」
  - (2) 子ども・子育て支援の普及啓発事業
5. 少子化対策への前向きな機運の醸成
  - (1) 結婚・子育てブランディング事業
    - ・結婚映像、子育て映像を作成し、HPやユーチューブに掲載

○平成28年度「地域少子化対策重点推進事業」

【事業内容】

1. 結婚に対する取り組み
  - (1) ライフデザイン構築事業
    - ・ライフデザイン冊子の作成
    - ・市内企業にてワークショップ開催
    - ・フェイスブックにて情報発信

## ○所感

・全国各自治体とも、人口減少、高齢化の問題は避けられない今後の課題であるが、近江八幡市の少子化対策は、全てをトータルした事業の展開を行っていることに感銘を受けた。「自分ひとりじゃない、みんなが見守ってくれている」と感じられることが子育てをする親にとっていかに大切であるかを改めて認識するとともに、それに沿った事業展開をしていることに驚いた。NPOを初め、子育て支援団体が多く存在していることは、市民協働のまちづくりが根付いていることが伺われ、栃木市も市民全体で子育て支援が出来るまちになれば、少子化問題対策の一環となると考える。

・国の交付金事業を受け、事業に意欲的に取り組んでいた。子育てガイドブックの発行、育パパ手帳等は、分かりやすく作成されていた。子育てネットワークの構築も進められており、市全体を網羅した幅広い人材を育成していた。若年層に対するライフデザインの提案など、民間を巻き込み幅広い事業が展開されていた。栃木市においても、結婚・出産を含むライフデザインの提案、多くの市民が子どもを見守る体制づくり、民間が核となったネットワークづくりが急務と考える。